

(別紙様式)

令和6年5月

学校名 (海星中学高等学校)

校長名 (武川 眞一郎)

令和5年度 学校自己評価について (報告)

このことについては、下記の通りです。

記

1 令和5年度学校自己評価結果の概要 (特筆すべき結果等) について

- ◎ 生徒の背景を理解しながら、思いやりを持って指導にあたっている意識は高い。
- ◎ 生徒の現状をしっかりと把握し、時間を効率的に使いながら生徒の学力を伸ばす工夫を続けている。
- ◎ 授業の充実はもちろん、生徒からの質問に丁寧に答えるなど個人指導を大切にしている。
- ◎ 生徒指導や教科指導など、生徒に関する情報を教師間で共有することにより、より良い指導を心がけている。
- ◎ 学校の様子や情報はHPをはじめ、さまざまな手段を活用し、保護者だけでなく外部へも積極的に情報の発信を行っている。

2 生徒による授業評価について 実施の有無 : 実施 (○) 未実施 ()

『授業評価』 全教員の平均値 (4段階評価 4が上)

	R 3	R 4	R 5
高校	3.49	3.56	3.51
中学	3.51	3.46	3.51

(高校)

- ◎ 各コースの特徴を踏まえ、進路選択に応じた授業計画を考え展開。
- ◎ 授業や個別指導の充実を図るためにICT機器の利用。
- ◎ 3年生での進路実現に向け、1年次から基礎基本の徹底から応用問題・演習の、表現活動などの必要に応じた指導。

(中学)

- ◎ 学ぶ楽しさを意識できるよう、身近な題材を通じた学習指導。

- ◎ 授業や個別指導の充実を図るためにICT機器の利用。
- ◎ 中学独自の行事を展開することにより、生徒たちが受け身ではなく能動的に行動することを意識した学校運営。

『授業評価』教科別（5教科）の平均値（4段階評価 4が上）

	国語	地歴公民	数学	理科	英語
高校	3.49	3.53	3.47	3.54	3.64
中学	3.47	3.58	3.51	3.41	3.57

（高校）

- ◎ 資格の取得に取り組むことにより、学力の向上を図るとともに学ぶことの楽しさを実感させる。
- ◎ ICTの活用により効率的になった授業に加え、適切にノートや課題の点検を行うなどバランスの良い指導

（中学）

- ◎ 生徒の興味関心や意欲を引き出す授業展開
- ◎ 疑問点に丁寧に対応し、一人一人を大切にする指導

3 「よかところ推進プロジェクト事業」について

- ◎ 学校が地域コミュニティの中核となる存在であることを気づかせ、生徒に授業とは異なる学びを提供し、地域活動に取り組む生徒を育てる。
- ◎ 「周辺の空き地対策」「居留地地区の観光地としての取り組み」「国際交流と平和」という活動が地域貢献につながることを気づかせ、進路選択や将来の自分を考えるきっかけとする

4 学校自己評価結果の公表方法について

- 生徒による授業評価を整理し、印刷したものを全教職員に配布
- 育成会総会で文書化したものを配布。育成会総会后にHPに公表する

5 令和5年度学校自己評価結果の活用方法・令和6年度学校運営への反映について

- 教科ごとの分析会を開き、授業力の向上に役立てている。
- 分析会の報告を元に教職員研修をおこなう。

6 (参考) 学校関係者評価の実施について (実施の有無): 実施 (○) 未実施 ()